

みずほCustomer Desk Report 2020/03/27号(As of 2020/03/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.77
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.87	1.0888	120.74	1.1841	0.5904
SYD-NY High	111.29	1.1060	121.06	1.2230	0.6088
SYD-NY Low	109.21	1.0871	119.98	1.1778	0.5870
NY 5:00 PM	109.61	1.1031	120.84	1.2210	0.6063
NY DOW	22,552.17	1,351.62	日本2年債	-0.250	▲1.00bp
NASDAQ	7,797.54	413.24	日本10年債	0.000	▲3.00bp
S&P	2,630.07	154.51	米国2年債	0.2966	▲4.12bp
日経平均	18,664.60	▲882.03	米国5年債	0.5262	0.48bp
TOPIX	1,399.32	▲25.30	米国10年債	0.8455	▲2.01bp
シカゴ日経先物	19,475.00	65.00	独10年債	-0.3665	▲9.95bp
ロンドンFT	5,815.73	127.53	英10年債	0.3955	▲4.60bp
DAX	10,000.96	126.70	豪10年債	0.9050	▲4.35bp
ハンセン指数	23,352.34	▲174.85	USDJPY 1M Vol	13.56	2.31%
上海総合	2,764.91	▲16.68	USDJPY 3M Vol	11.60	1.48%
NY金	1,651.20	17.80	USDJPY 6M Vol	10.35	0.95%
WTI	22.60	▲1.89	USDJPY 1M 25RR	-5.15	Yen Call Over
CRB指数	126.35	▲3.25	EURJPY 3M Vol	10.91	0.88%
ドルインデックス	99.35	▲1.70	EURJPY 6M Vol	10.19	0.54%

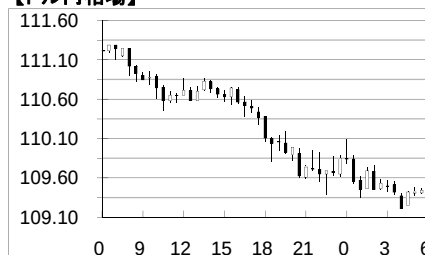
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月26日	21:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q T 2.1%	2.1%
	21:30	米 個人消費	4Q T 1.8%	1.7%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	4Q T 1.3%	1.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	21-Mar 3283k	1700k

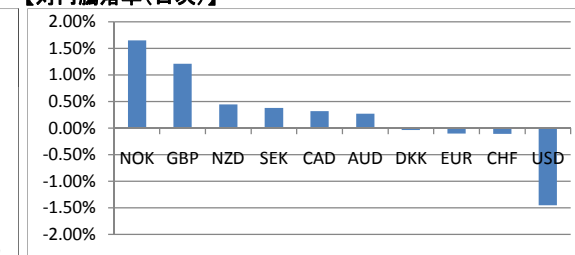
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月27日	08:30	日 東京CPI/コアCPI	3月 0.3%/0.4%	0.4%/0.5%
	21:30	米 個人所得	2月 0.4%	0.6%
	21:30	米 個人支出	2月 0.2%	0.2%
	21:30	米 PCE*フレダ(前月比/前年比)	2月 0.1%/1.7%	0.1%/1.7%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	3月 90	95.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 新年度は一段と下値を試す展開か

新型コロナウイルスの感染拡大が続いているが、先日の小池都知事の緊急記者会見によれば、感染者の増加ペースによつては東京がロックアウトとなる可能性も示唆されており、週末に向け感染者の拡大が警戒される。今週に入り急上昇していた株価も、一旦落ち着きをみせる展開となっており、欧米での感染拡大のスピードを尻目に、ここも東京での急増は予測を許さない状況だ。然しながら、既に収束に向かっている中国での先例を見る限り、向こう数ヶ月から半年以内に克服が出来ない病だとは思えないのが基本的な認識だ。東京での感染拡大への緊張感が高まっている足許で、先行きの明確な時期を予想するのは難しいが、米国や欧州諸国での感染拡大に収束の兆しが見え始めた時、有効な治療薬・治療法やワクチンが見つかるといったニュースが出てくる時、そして事実上の停止に近い経済活動の状況が、経済指標に織り込まれてくれば、主要株価指数における反発も期待されよう。

過去振り返れば、トランプ米大統領の誕生以降、ドル円が105円割れを示現したのは、米中貿易戦争の話題に揺れた2018年3月23日～26日と2019年8月26日、フラッシュクラッシュとなった2019年1月3日の暴落、そして今月3月9日～13日までの計4回だけだ。今般のコロナウィルス感染拡大がなければ、先月までの約3年間近く続いた104円～114円というレンジを大きく割り込むことがなかったはずで、大きく捉えればこのレンジで推移するとみるのが自然ではないだろうか。今後、主要各国中銀協調による相次ぐ金融緩和策と流動性の供給に加え、米国での超大型の財政支出が控えており、過度なドル取り需要も3月期末の資金供給不安が通過すれば落ち着きを見せる事が想定されよう。4月から新年度が始まり、想定レートも現水準への洗い替えがなされれば、相応のドル売り需要が出てくる事が想定され、新年度のスタートからは一段と下値を試す展開を見込んでいる。(関)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
8	12

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。